

士別市まちづくり総合計画 中高生アンケート集計

令和6年度

調査概要

調査対象

- ・ 士別市内の中学校・高校に通う学生のうち、中学1・2年生、高校1・2年生の計418名。

調査方法

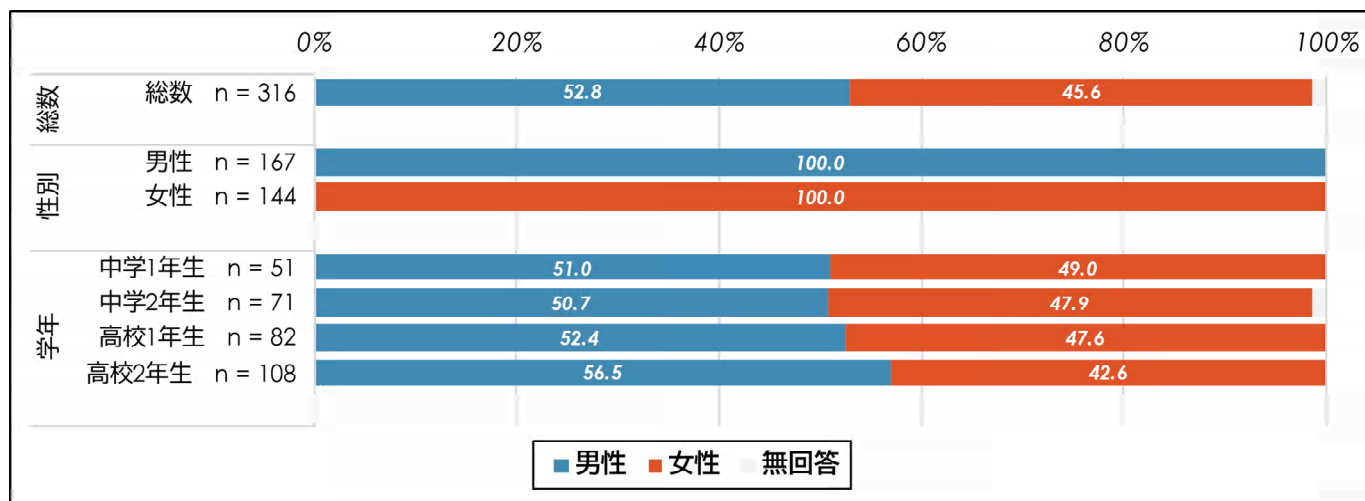
- ・ 各校に協力依頼の上、Web上のアンケートフォームより回答。

有効回答数・回収率

- ・ 316件（75.6%）

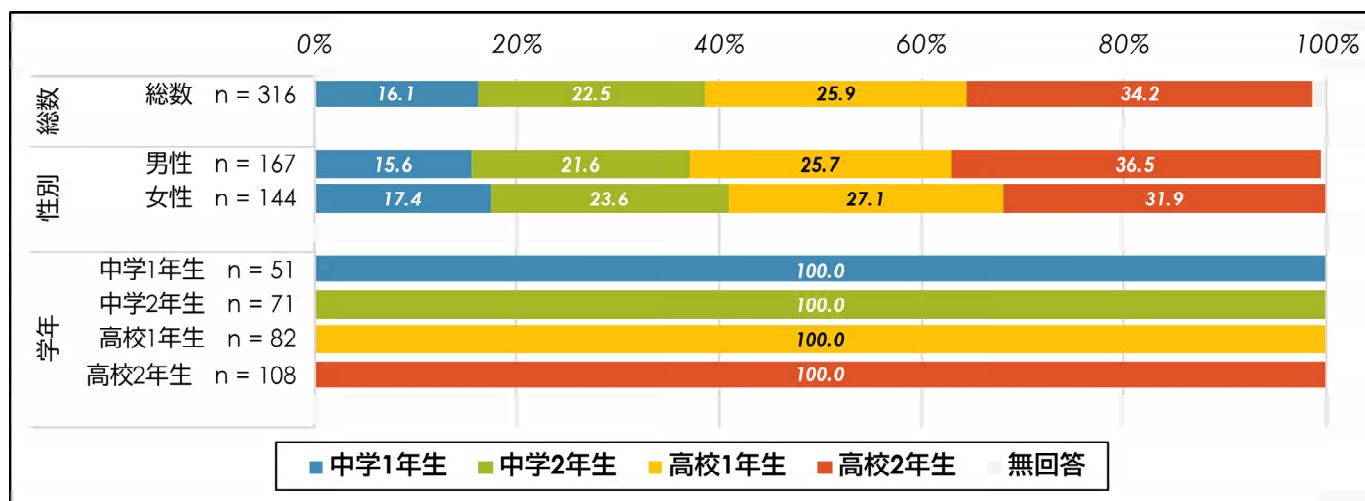
問1 性別

- 男性が52.8%、女性が45.6%であった。



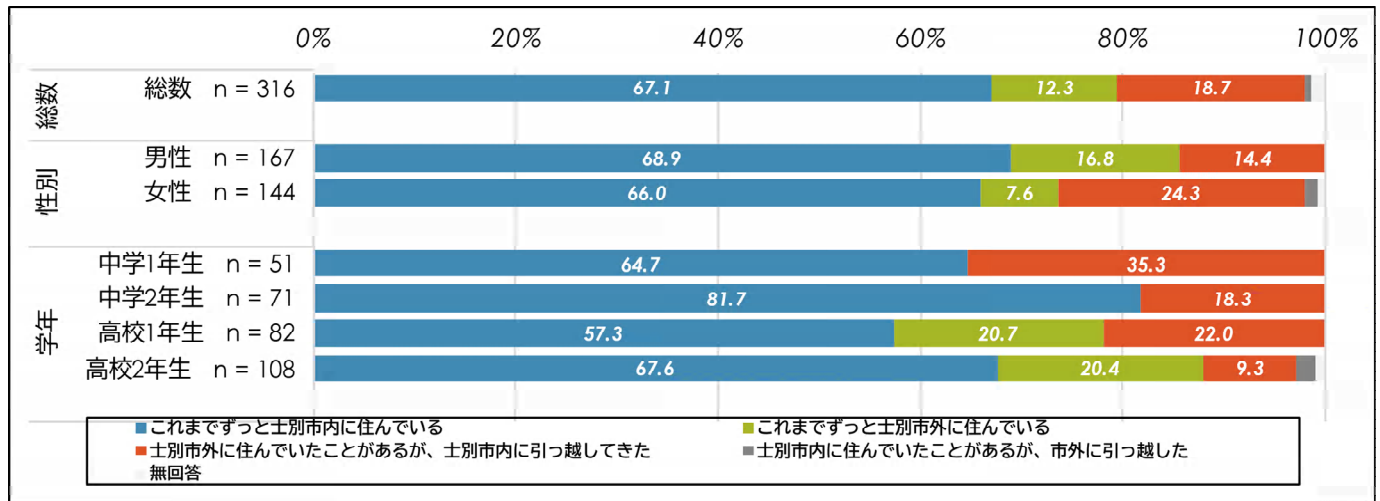
問2 学年

- 出生数の減少もあって、学年が下がるほどサンプル数も少なくなっている。



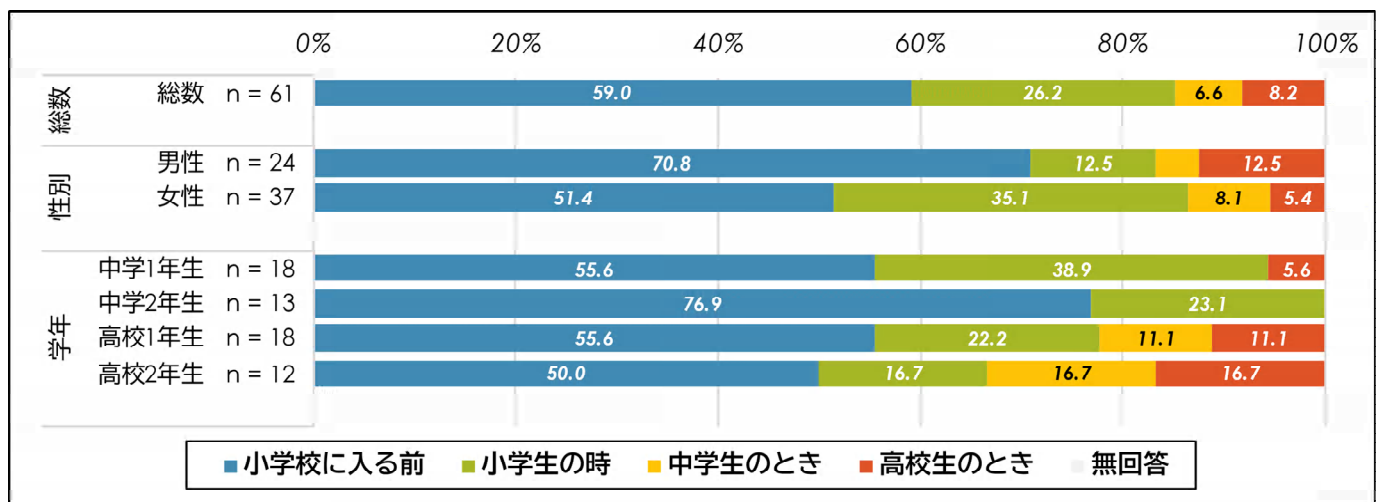
問3 生まれ育った地域

- 全体では67.1%が、生まれてからずっと士別市に住んでいる。
- 高校生アンケートでは、市外からの通学者にもアンケートを行っており、高校生の回答者の約2割はずっと士別市外に住んでいる。



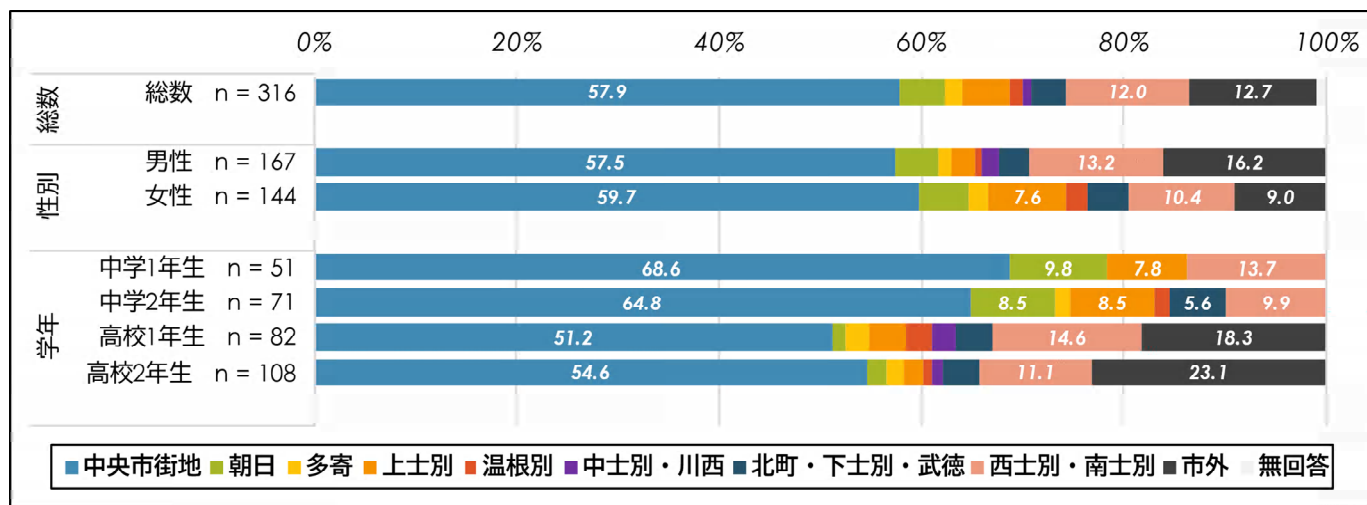
問4 いつ頃士別市内/士別市外に引っ越しをしましたか。

- 市境を跨ぐ転入・転出の経験者のみ回答。
- 全体では過半数が「小学校に入る前」に引っ越しをしている。

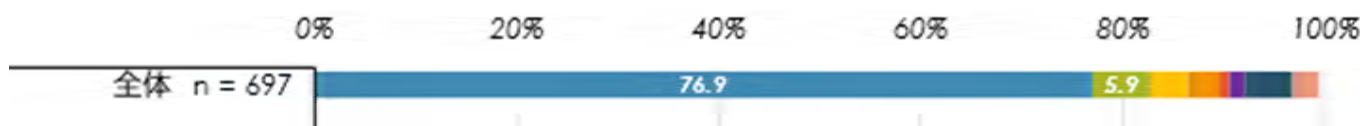


問5 現在の居住地域

- 全体では57.9%が中央市街地に住んでいる。
- 成人向けアンケートでは、中央市街地の居住割合が76.9%であった。市外から通う高校生の割合を考慮しても、中高生アンケートは地方部に住む回答者が多くなっているといえる。



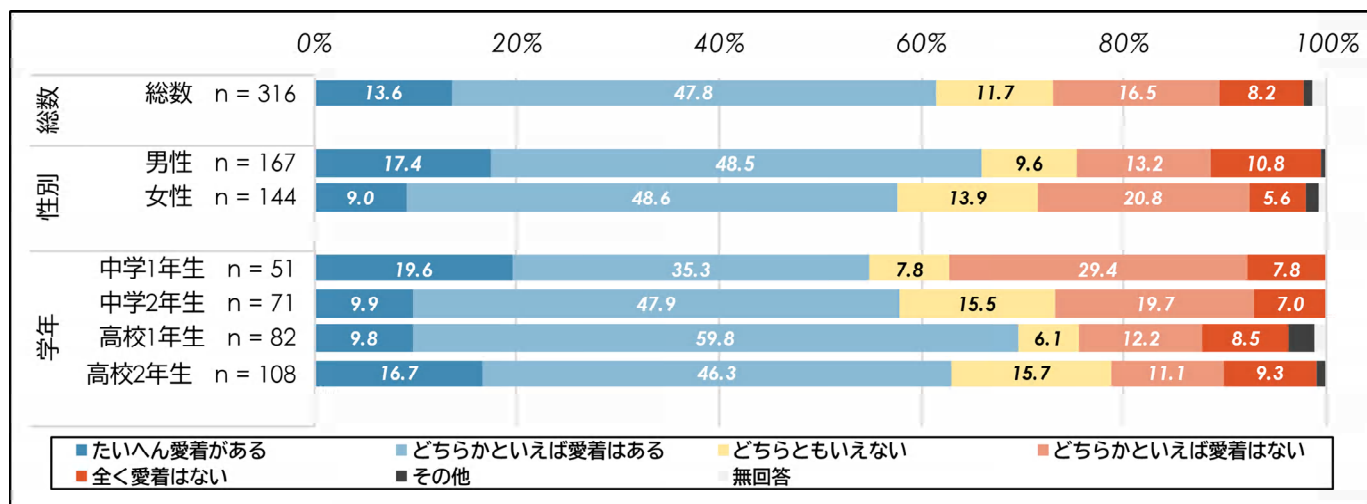
参考：市民全体



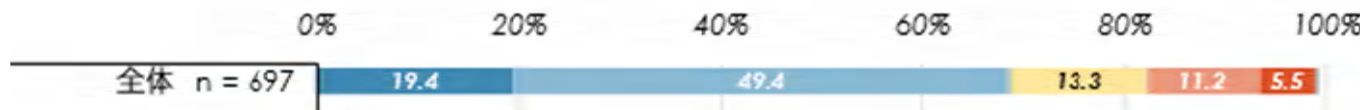
問6 土別市への愛着

あなたは、土別市に愛着を感じていますか。

- 「大変愛着がある」「どちらかといえば愛着がある」の合計は61.4%である。
- 成人向けアンケートと比較すると、否定的な回答割合がやや高い傾向にある。



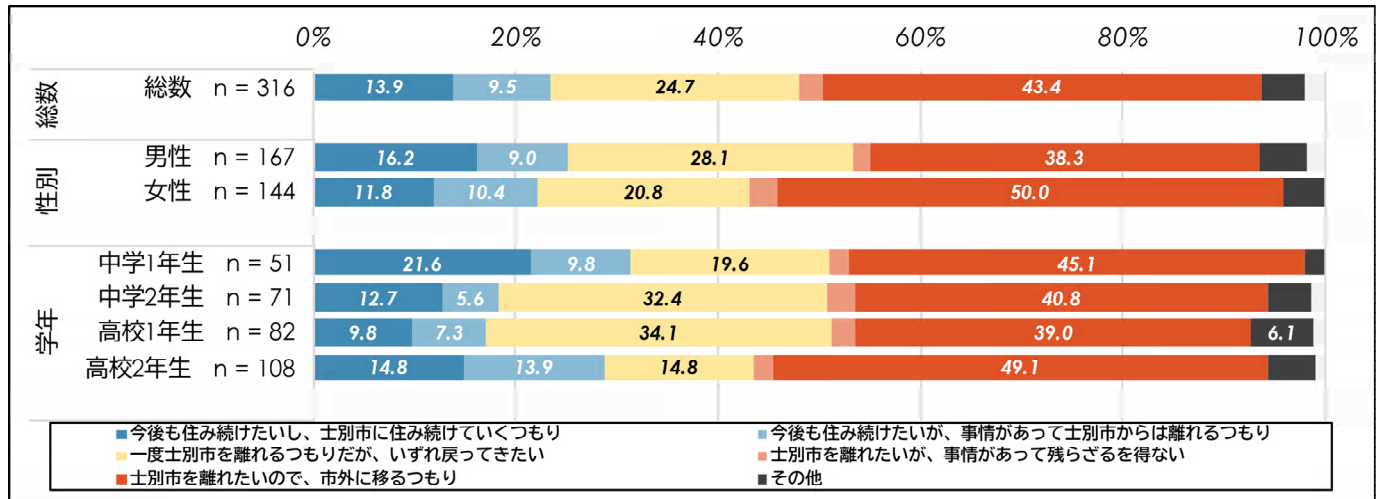
参考：市民全体



問7 士別市への定住意思

あなたは、将来も士別市に住み続けたいと思いますか。

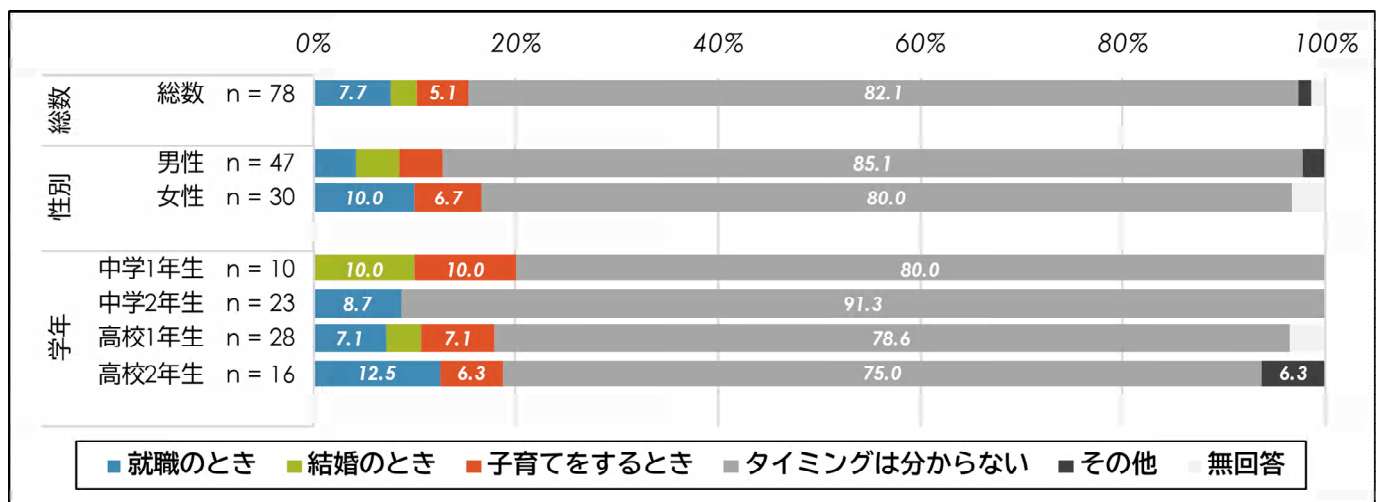
- 全体では「今後も住み続けたいし、士別市に住み続けていくつもり」は13.9%に留まった。
- 「今後も住み続けたいが、事情があって士別市からは離れるつもり」「一度士別市を離れるつもりだが、いずれ戻ってきたい」を合わせた士別市での居住に肯定的な回答の合計でも48.1%と、半数に満たない。
- 「その他」の内容は、「士別市内に住んでいない」「離れた後戻ってくるかはわからない」など。



問8 Uターンの時期

士別市に戻ってくるとしたらどのタイミングですか。

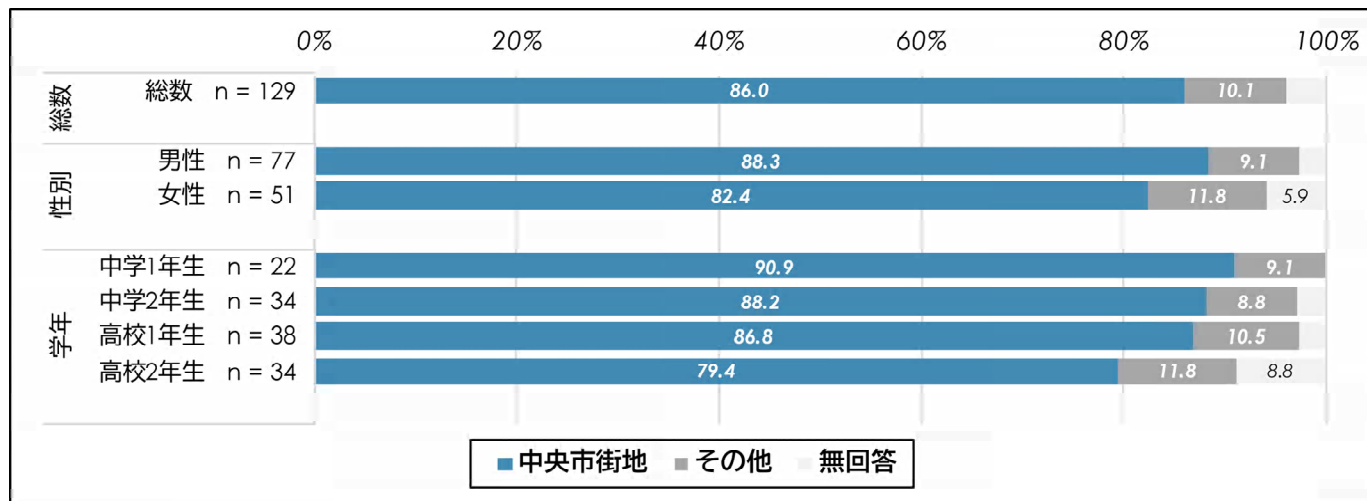
- 「一度士別市を離れるつもりだが、いずれ戻ってきたい」と回答した方のみの設問。
- 全体の82.1%は「わからない」と回答している。



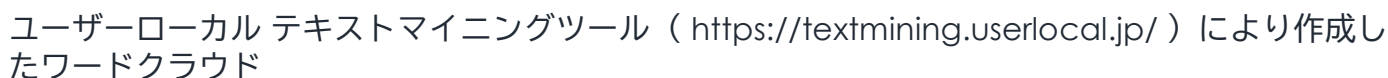
問9 士別市内で住みたいところ

士別市内で住みたいと思う地域はどこですか。

- 「今後も住み続けたいし、士別市に住み続けていくつもり」「一度士別市を離れるつもりだが、いずれ戻ってきたい」「士別市を離れたいが、事情があって残らざるを得ない」と回答した方のみの設問。
- 全体では「中央市街地」が86.0%となった。特に、現在中央市街地に住んでいる回答者のみではこの回答が96.2%に上る。



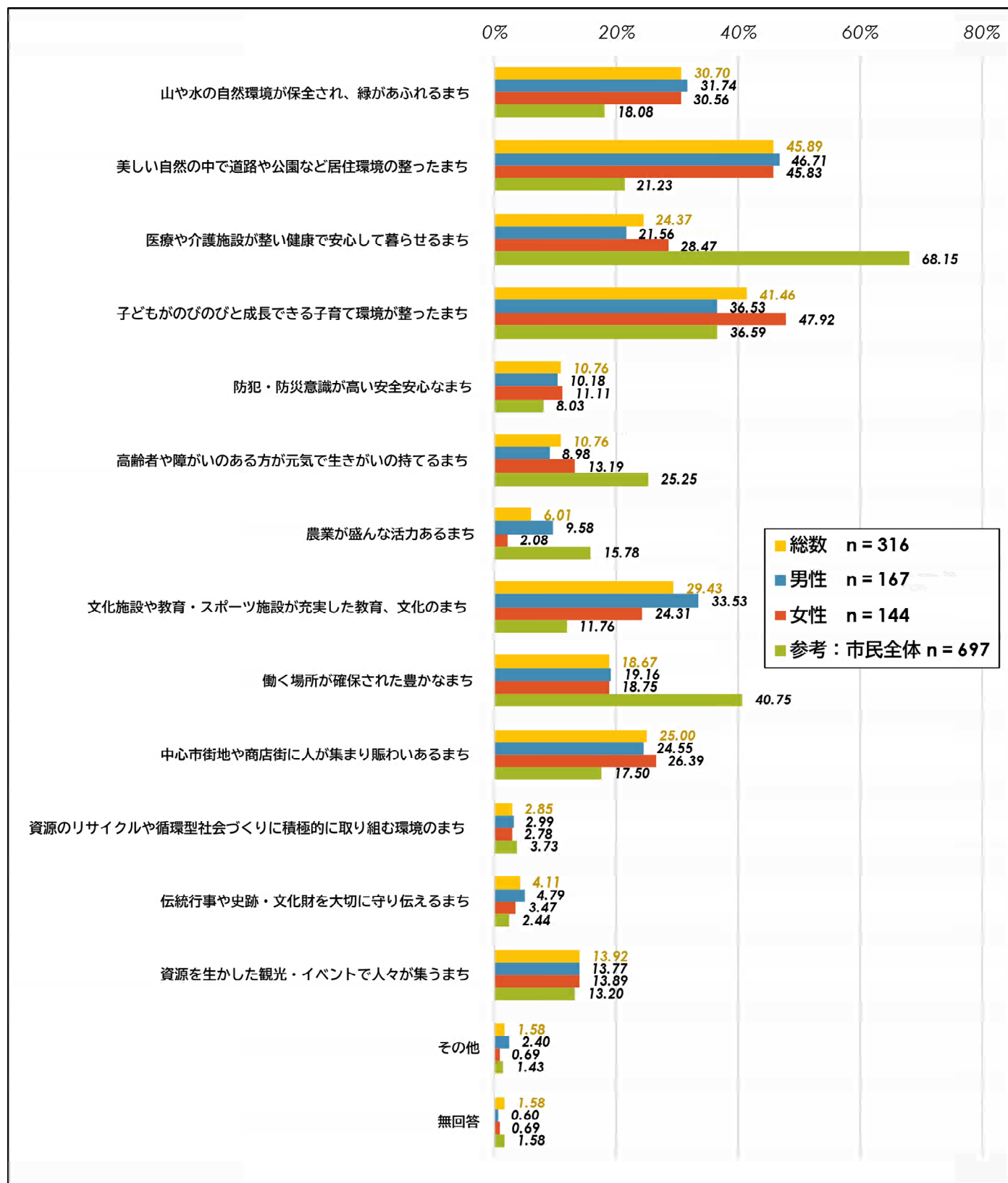
あなたが「土別市の魅力」と感じる「将来に残したいもの」、「他の人に伝えたいもの」、「自慢できるもの」などを最大三つまで（一つや二つでも可）教えて下さい。場所やもの、イベントやイメージなど、自由に書いてください。



問11・12 士別市の将来ビジョン

あなたは25年後の将来（2050年）にどのような士別市になってほしいと思いますか。
あなたのイメージに近いものを三つ選択してください。

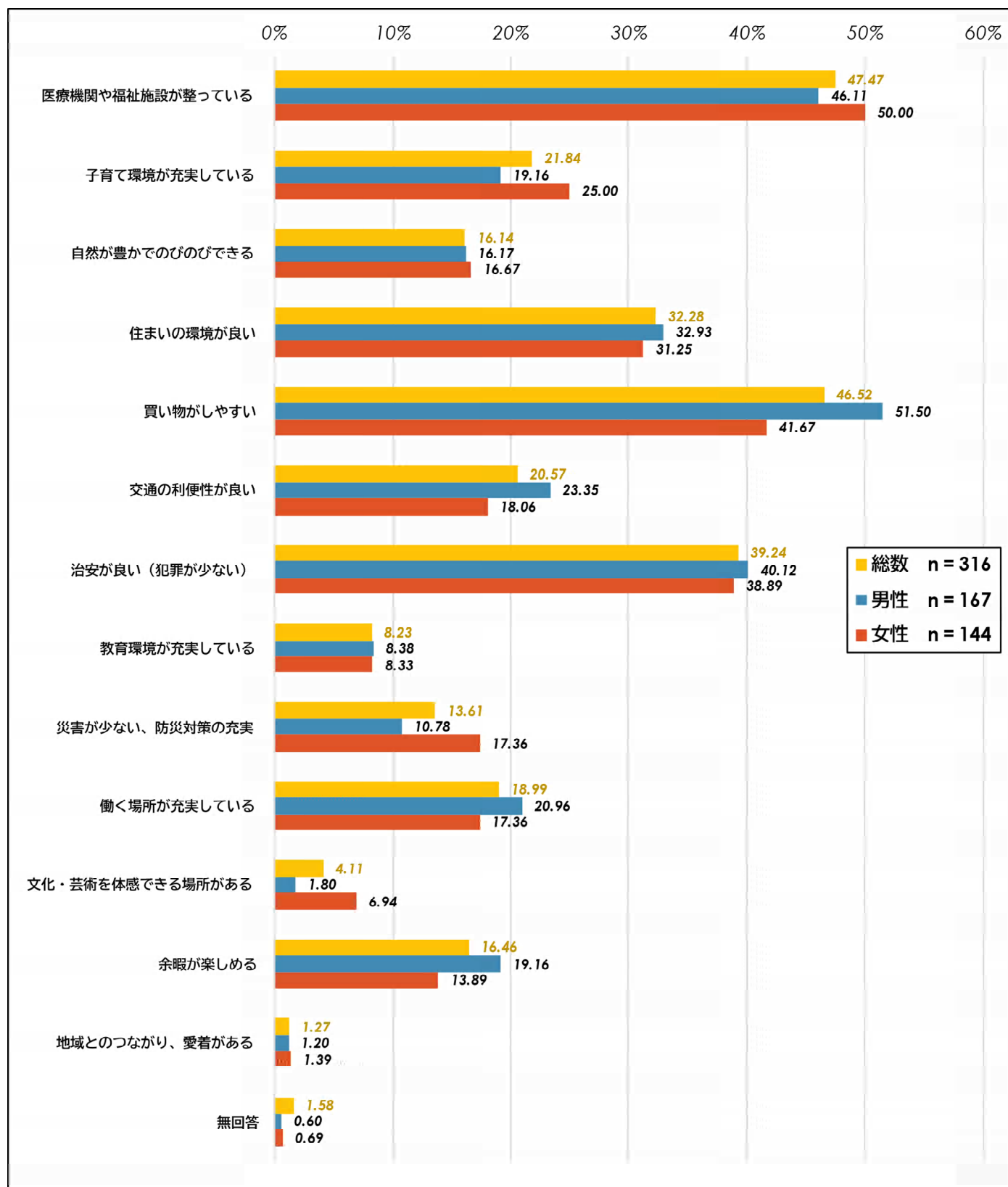
- 最多は「美しい自然の中で道路や公園など居住環境の整ったまち」で、「子どもがのびのびと成長できる子育て環境が整ったまち」が続く。
- 成人向けアンケートの結果とは異なる傾向がみられ、「～居住環境の整ったまち」「～緑があふれるまち」「～教育、文化のまち」が高い傾向にある。
- 問12ではその他の内容を聞いているが、回答は「人口が多いまち」1件であった。



問13 生活の中で重要と思うポイント

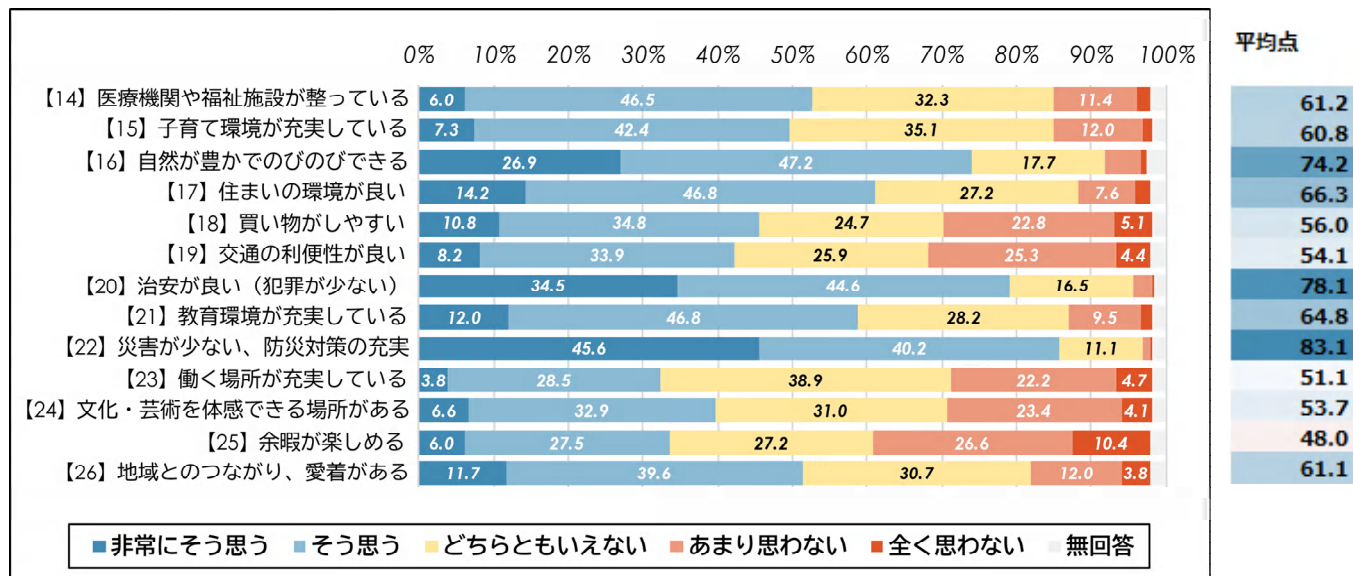
今後、あなたや両親が士別市に住み続けていくとした場合、生活の中で特に重要と思うポイントを三つ選択してください。

- 最多は「医療機関や福祉施設が整っている」で、「買い物がしやすい」が続く。
- 男性は利便性や仕事・余暇に関する回答率が高く、女性は安全・安心に関する回答率が高い。



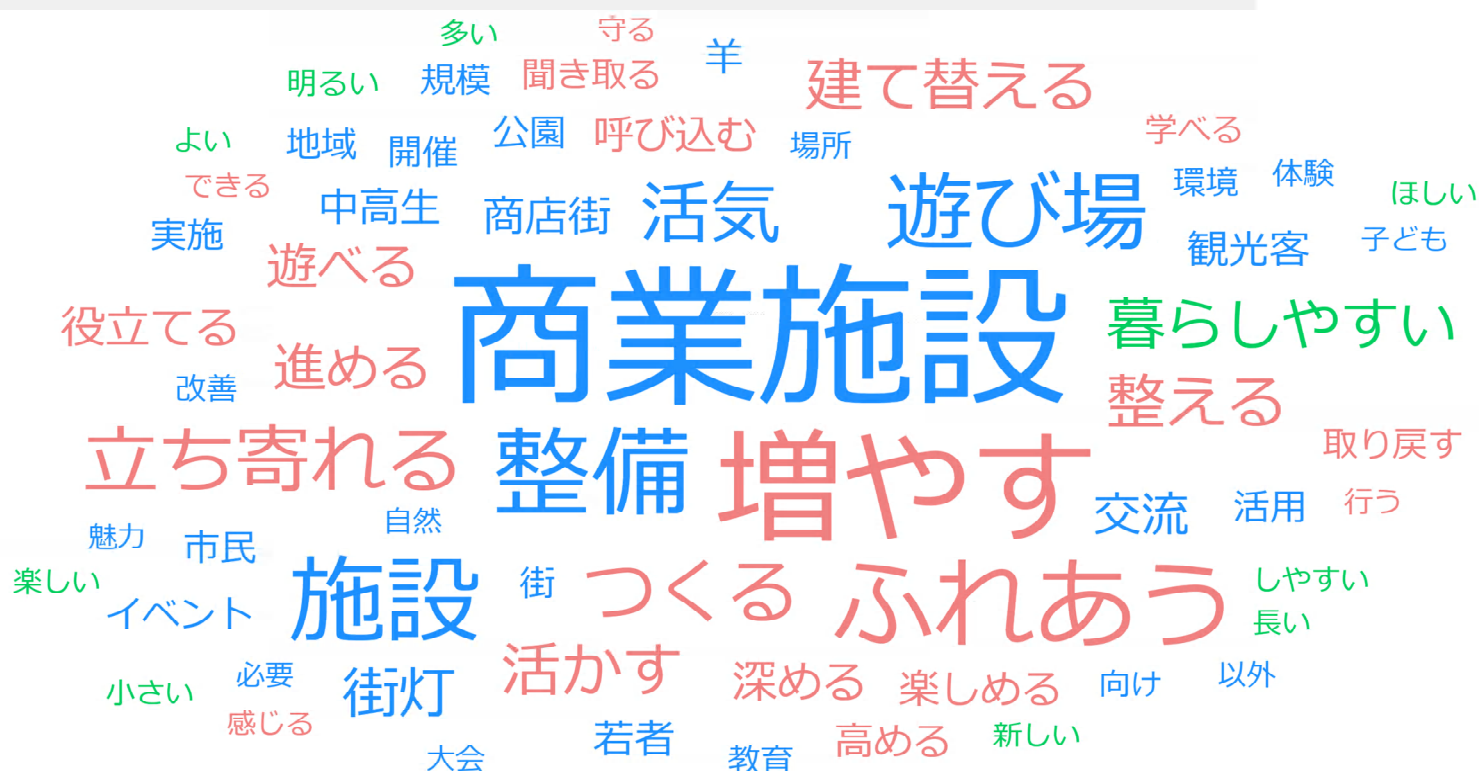
問14～26 生活満足度

- 問25「余暇が楽しめる」を除き、肯定的な回答が否定的な回答を上回った。
- 5段階評価それぞれに0,25, 50, 75, 100点を割り振った「平均点」が高い項目をみると、「災害が少ない、防災対策の充実」が83.1点で最も高く、「治安が良い（犯罪が少ない）」が78.1点で続く。



問27 自由回答

もしあなたが土別市長だったら、ぜひやってみたいことを記入してください。新しくチャレンジしたいこと、今は実施されていない事業や既存の事業を改善したい・発展させたいことなど、何でも結構です。また、その理由も教えてください。



ユーザーローカル テキストマイニングツール（<https://textmining.userlocal.jp/>）により作成したワードクラウド

文字の色

文字の色は、単語の品詞の種類によって分けられている。青が名詞、赤が動詞、緑が形容詞、灰色が感動詞となっている。

文字の大きさ

文字の大きさは、TF-IDF法という統計処理に基づいて算出された「スコア」に比例している。TF-IDF法は、文書における特徴語を解析する手法で、ある文書における単語の出現回数が多いほどスコアが高く、ある単語が含まれる文書の数が多いほどスコアが低くなるように計算が行われる。

これにより、「出現頻度は高いものの、あらゆる文書に登場する一般的な単語（「する」「思う」など）は優先度を低く」、「他の文書にはあまりみられないが、分析対象とする文書にはよく出てくる単語（今回の分析では「さほっち」「羊」など）は優先度を高く」することができる。

- ・ 「土別市」「土別」「名寄」などの単語は分析に際してあまり意味を持たないため、今回の対象からは外れるように前処理を行っている。
- ・ 「古い」→「新しい」、「少ない」→「多い」など、ネガティブなイメージを持つ単語については、対義語となる単語に統合して処理を行っている（元文書では「古い建物を建て替える」などの形で登場している）。

文字の位置

文字の位置については、重要度の高い単語が中央、そうでない単語が周辺に来るようにサービス側で自動的に配置されたもので、それ以上の意味は存在しない。